



ZOWAオリジナルプロジェクト「君が私をダメにする」公開台本

▼使用に関する注意事項

「君が私をダメにする」公式サイト(<https://fun.zowa.app/lp/kimidame/>)  
に公開されている利用規約を必ず「一読いただき、規約に沿って」利用ください。

## 第15話 「校長先生の「コンサルタント」」

【登場人物】

校長

コンサル

生徒

先生

PTA

ナレーション



校長 「夏休みは皆さん安全に気をつけて、

あまり羽目を外しすぎないように楽しんで下さい。

というところで校長の話は終わりにします」

生徒 「はあ、今日も変わらず校長の話つまんなかったなあ。」

本当いつまでしゃべるんだよアイツ、長すぎだろ」

〈校長室〉

校長 「いやあ今日も朝からかましちゃったなあ最高の朝会だったよねえ！

朝会のスピーチコンサルタン卜として田中さんに来てもらったけど

全然必要ないくらいですよねー！」

コンサル 「え、どこがですか？むしろ話聞いて僕が絶対に必要だと思いましたよ。

あれじゃあ生徒も聞く耳を持ってくれないですよー！」

校長 「え？今日もバチツと決まってたでしょ？

生徒も関心した顔で私の事見てましたからー！」

コンサル 「今日した話、自分で覚えてますか？」

校長 「今日は私がつけてる夢日記の話をしたけど、

どこか問題ありましたかね？」

「コンサル」 老人の夢日記の話なんて誰も興味ないんですよー！

なんでそんな話するんですかー！

校長 「じゃあ何の話をするれば良いんですかー！

校長の見た夢とか一番興味あるトピックでしょうがー！

「コンサル」 全然ですよ。第一今日のトークトピックを事前に送りましたよね？

なんでそれ通り話してくれないんですかー！

校長 「あー来てたなそういえば…どんなの送ってきましたっけ？」

「コンサル」 まず校長の話なんてそもそも生徒は興味ないんですから、

生徒の興味ある話題について話さないでダメですよね

「コンサル」 なので送ったトークトピックは、『こんな親には気をつけろ！

交際相手の危険な親の特徴ランキング』です

校長 「え、それは攻め過ぎじゃない？」

それ保護者まで届いたら懲戒免職レベルじゃないかな？

「コンサル」 大丈夫ですよ、私はこれまで50人以上の校長先生の「コンサル」をして

きましたけど、攻めすぎて問題になったのは2人だけです

校長 「2人問題になってるじゃないですか。

問題になった校長はどんな話をしたんですか？」

「コンサル 『今まで会った中でヤバかった親の実名を晒します』とか

『歴代生徒キラキラネームランキング』とか…」

校長 「え、校長の事、暴露系YOUTUBERか何かと勘違いしちゃって

ますっ。」

「コンサル」でも安心して下さい。僕もバカじゃないのよ。」

それを経験として常にレベルアップしてますからー！」

校長 「でも私はまだコンサルって仕事に信頼を置いていないんだよ！

なんかうねんぐねんぐっ」

「コンサル」わかりました。

それじゃあ僕の実力をしっかりと証明しないのですね」

「コンサル」では、来週の朝会の話は私がコンサルに入るので

内容を一緒に考えていきましょっ」

「コンサル」その話を聞く生徒の態度を見れば私の実力が嫌でもわかりますよ」

校長 「そっしょっが

「コンサル」 「まずなんで校長の話が引くほどつまらないかわかりますか？」

校長 「前提として引くほどつまらないはおかしくない？生徒もちゃんと聞いていたし」

「コンサル」 「いいですか、校長先生のお話はつまらないし、生徒はあなたに興味などないんです」

校長 「え、そうなの？」

「コンサル」 「そうです」

校長 「ちよつとショックなんでしょう」

「コンサル」 「ですから、まず大切なのは、嘘でもいいから生徒の興味を引く話をしつゝ、意識を「こちらに向けろ」ことが重要なんです」

校長 「なるほど。少しは「コンサルっぽい」と言っただけじゃないかでも嘘を話すのはべつなんだろっか？」

「コンサル」 「生徒は嘘が本当かなんてべつでも良いんですよ。重要なのは「面白いかどうか」「これだけです」

「コンサル」 「ちなみに来週はどんな話をする予定だったんですか？」

校長 「来週は『』の学校で良い成績を取る方法』について

話そつと思ってたんだよねー」

校長 「内容は日々真面目に過す事こそが良い成績に繋がる。

みたいな事なんだけど…」

コンサル 「テーマはそれで行きましょー」

校長 「ほー……やっぱり……私の話は面白いんじゃないか……」

コンサル 「いや、テーマは……です。内容はクソつまりませぬ」

校長 「またつまらないっていったー」

校長 「じゃあ内容はどんな話するのが良いんだいっ」

コンサル 「さぁっや耳を貸してネー」

(コンソシヨ話)

コンサル 「……って内容ですー」

校長 「それは確かに生徒の興味を引けるかもしれないな！

それを試してみようー」

ナレーション「一週間後」

先生 「それでは次は校長先生からのお話になります！」

校長 「みなさんおはようございますー！」

生徒 「おはようございますー！」

校長 「今日皆さんにお話したい話は…」

『この学校で良い成績を取る方法について』です」

校長 「話を始めたいんですが、今日は騒がしいですね！

はい、皆さんが静かになるまでに…」

校長 「私は10連ガチャで4回も爆死してしまいました」

(笑い声)

校長 「どういふことで話を始めていきますが、

この学校で皆さん良い成績を収めて、良い高校に行きたいですね？」

校長 「受験には成績も関係してへるので、いかに良い成績を収めるのかは、

受験において非常に大切になります」

校長 「私は今から端的にこの学校で良い成績を取る方法を教えます……！」

それは…『人を欺く事です！』。本当成績も人生もこれに限ります」

校長 「とにかく人にはれないようにズルを沢山することがとても大切

です！」

校長 「まず成績を取るために大事な試験。これはカンニングでどうにかなり

ますね

校長 「とにかくバレなきゃ良いので、色々な所にカンニングを仕込むなり、

先生にお金を払って見逃してもらったり、やり方は沢山あります！」

校長 「あと、成績をつけるのは先生達および校長の私です。

でも考えてみて下さい。「この学校で一番偉いのは誰ですか？」

そうですね…私です……！」

校長 「つまり生徒の皆さんは私に媚びなえすれば、

自動的に成績も上がっていくということになりますね！」

校長 「ちなみに私が今一番欲しいものはこの後通販サイトの欲しい物リス

トを皆さんにお送りするのでそちらを見てもうえれば大丈夫です」

校長 「以上が、この学校で良い成績を取る方法です！

という事で校長の話は以上になります」



(生徒の歓声……！)

〈校長室〉

校長 「いやあ〜最高だったね！話の内容やばいかなと思ったけど、生徒達が湧いてたね……気持ちよかったなあ〜」

コンサル 「校長先生、私の力がようやくわかりましたか？」

校長 「いやあ本当舐めてたよ、こんな凄かったなんて……！  
これからもコンサル頼むよ……！来週も楽しみだな！」

コンサル 「お任せ下さいー！」

ナレーション 「翌日」

先生 「校長先生ー昨日の朝会での話がPTAの間で問題になっています！  
音声を録音してた生徒がSNSで公開したみたいで……」

先生 「教育委員会からも『べついつい事だ？』と連絡が来ます……！」

校長 「そ、そんな……」

先生 「PTAの方が今学校にいらして…」

PTA 「校長先生ー昨日のお話はなんですか………」

校長 「え、いや、あの…」

実は昨日の話の内容は「コンサルが考えていて…」

PTA 「コンサル！？何のコンサルですかそれ」

校長 「私の話の内容が生徒に興味を持たれていないという点で、

「コンサルに話のアドバイスを貰いまして…」

PTA 「校長の話の「コンサルなんて聞いたことないですよ……」

その人も連れてきて下さい………」

校長 「すぐ連れてきます………」

「コンサル 「あ、どうも……どうしたんですか？」

まさか昨日の校長の話が良すぎて会いに来ちゃったとかですか？」

PTA 「は、何言ってるんですか？」

あなたの作った内容がSNSで炎上してるんですよ………」

「コンサル 「うわ、めっちゃ怒ってないじゃないか？」

PTA 「あの話を子どもたちの前でするのは

社会的常識がなかなかなさくないですか？」

コンサル 「校長本当すみません……」

校長 「すくはく彼はクビですのさ……」

PTA 「当たり前でしょ……」

コンサル 「クビ……ですよね……」

（別の学校にて）

SE 学校のチャイム

コンサル 「始めまして、校長の話を専門にスピーチコンサルタントをやっております

ます佐々木と申します」

コンサル 「私の手にかかればつまりない校長のお話も、生徒の興味を引きまくり、

バズりまくりの面白い話に変える事ができますよー」